

平成17年 台風14号

平成17年9月6日 台風14号

(最大時間雨量55.1mm, 重傷4人, 軽傷8人)

■ 気象概況

台風14号は、大型で強い勢力を保ったまま、九州地方西岸に沿って北に進み、平成17年9月6日深夜に山口県山陰沖の日本海に達した。広島県廿日市市を中心とする広島県西部では、午後より風雨が強まり、6日午後8時から午後10時にかけて降雨はピークに達し、土砂災害が多発した廿日市市友和で24時間雨量377mm、土石流が発生した厳島神社では24時間雨量234mmを記録した。

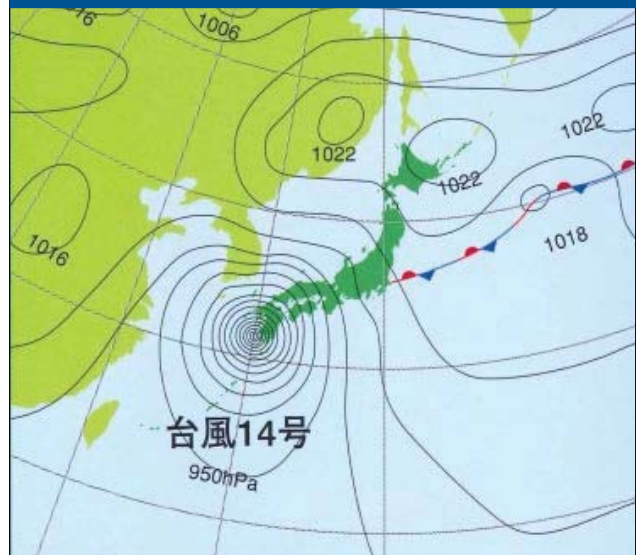
■ 被害の概要

大雨が集中した廿日市市を中心に、被害が多発し、家屋全壊4戸、一部損壊44戸の被害が発生した他、土石流13溪流、がけ崩れ7箇所、地すべり1箇所の土砂災害が発生した。

世界遺産をかかえる宮島では、9月6日22時頃、大聖院沿いの白糸川上流の弥山山頂付近が崩壊し、白糸川を流下して約16,000m³の土砂が、厳島神社南側の住宅地へ流れ込み、家屋一部損壊9戸が発生するなどの被害が生じた。

また、被害が集中した廿日市市では、玖島地区、永原地区などで土石流が発生した他、広島市佐伯区湯来町多田志井地区で地すべりが発生し家屋が全壊するなどの被害があった。

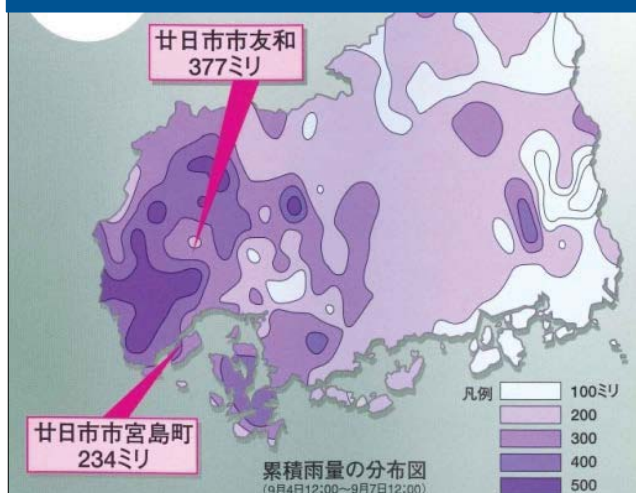
平成17年9月6日 天気図



台風14号経路図



平成17年9月6日 日雨量分布図



平成17年 台風14号

廿日市市の災害状況

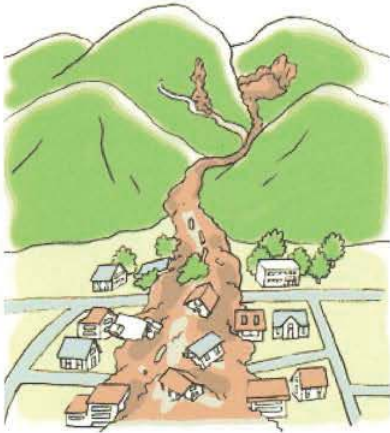
被災箇所一覧表

溪流名	氾濫面積	氾濫延長	氾濫幅	最大礫径
白糸川	22,000㎡	300m	140m	3m
泉水南谷川	11,000㎡	200m	115m	1m
大久保川	57,000㎡	900m	100m	3m



土石流とは

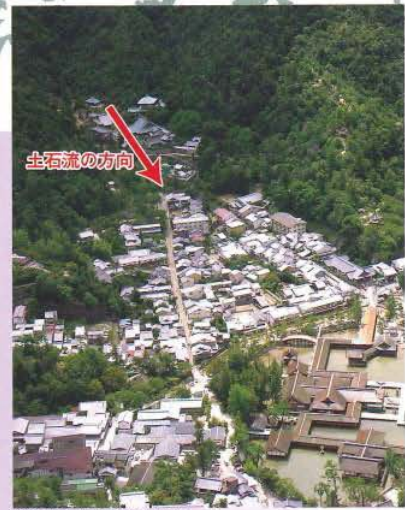
山腹や川底の石や土砂などが、長雨や集中豪雨などによって、水とともに一気に下流に押し出されるものを土石流と言います。流れの速さは、時速20~40kmもあるため、一瞬のうちに、大きな被害が出ます。



宮島 白糸川 (2005.9)



大聖院付近の被災状況



巖島神社付近の被災状況

玖島 泉水南谷川 (2005.9)



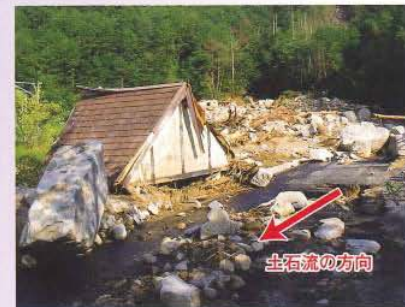
泉水南谷川直下流の被災状況 (土石流が住宅の中まで入りました。)



永原 大久保川 (2005.9)



大久保川直下流の被災状況 (住宅団地を土石流が直撃しました。)



平成17年 台風14号 しらいとがわ 白糸川の被害状況

■被害状況

9月6日22時頃、白糸川では山頂付近から土石流が発生した。

土石流は、白糸川上流から大聖院を経て約2,600mを流下し、約16,000m³の土砂が、巖島神社南側の住宅地に流れ込んで、家屋等に甚大な被害が生じた。



■人的被害
軽傷・・・1名

■人家被害
一部損壊・・・9戸
床上浸水・・・11戸
床下浸水・・・34戸